

草のよしだやかわら版

2018年 冬号

VOL21

日ごとに厳しさを増す寒さの中で、多くの植物は活動を休止しているように見えますが、芽の中では春へ向けた準備が続いています。低温に一定期間あたることで、芽吹き準備が加速されています。また、この時期は落葉して裸になっている樹形見ることが出来ます。木の種類により異なる枝ぶりはそれぞれ個性的で楽しいですよ。ガーデニング作業は少しつらい時期ですが、植物の力強さも是非ご一緒に楽しみましょう。

❁冬のお手入れのお話:

吉田 龍
ガーデニング専門学校
の講師をしています!



剪定のはなし：落葉樹

主な落葉樹は、今が剪定の適期です（2月頃まで）。栄養を蓄えて休眠に入っているこの時期は、樹木へのダメージも少なく、切り口から樹液が溢れて枯れ込むことが無いので、深めの剪定が行なえます。落葉しているので枝ぶりを確認しながらバランスよく整えることも出来ます。



剪定のはなし：バラ

バラは強い剪定をして勢いの良い新しい枝を発生させた方が、その先端に良い花を咲かせるという性質があります。バラは2月までの強剪定がお勧めです。芽を見て伸ばしたい方向の芽を残す剪定をします。

草のよしだやではバラの剪定、誘引も行っておりますのでお気軽にお問い合わせください。

❁和ハーブコラム（和ハーブインストラクター よしだたまこ）

お庭に1本欲しい『ユズ（柚子）』のお話。

お医者さんや薬局が少ない時代、ユズはお庭の薬箱として重宝されてきました。ユズ湯には香りのリラックス効果と血行促進、殺菌効果があると言われていています。食用の柚子胡椒、七味唐辛子の材料の一つでもあり、日本人には古くから馴染み深い植物ですね。

5月頃に咲く5弁の白い花も可愛いですよ。

